



この夏、日本の児童厚生員がソウルへ!!

2月に開催した「放課後の子どもの居場所 日韓シンポジウム」終了後すぐに、韓国から1通のメールが届きました。それは「夏に1318HappyZone(じどうかん2009夏号参照)のフェスティバルを開催するので、日本から参加して欲しい」というものでした。

韓国健全育成活動事業特派員を募集

シンポジウムでは日韓の児童館関係者の交流や協議もあったのですが、日本側参加者からはぜひ現場を実際に見てみたいという希望が多く寄せられていました。今回の招聘にあたっては、育成財団の職員だけでなく、何とか日本の関係者も一緒にできないかと模索し、「韓国健全育成活動事業特派員」プログラムを計画しました。育成財団総会席上やホームページを中心に広報し、5名の特派員を決定しました。

特派員

- (財)札幌市青少年女性活動協会 高橋雅裕氏、榊原由美氏
- (福)飯能市社会福祉協議会 木崎享江氏
- (福)都島友の会 宮本芳江氏
- (福)神戸市社会福祉協議会 田谷久恵氏

韓国のカウンターパートであるブスロギとしても初めてのフェスティバルだったため、直前までやりとりが続きました。先方からの依頼は、屋外のフェスティバルで日本の活動紹介を行うブースを運営して欲しいということと、日韓関係者協議(ワークショップ)を開催したいというものでした。

これに合わせて、各特派員には児童館での活動をビデオやパワーポイント、発表資料にまとめる作業を事前に行っていただきました。

いざ、ソウルへ

日本各地からソウルへは飛行機が飛んでいるため、それぞれ現地へ向かいました。特派員の中には海外渡航が初めてのメンバーもいて、緊張の中ソウルでの集合となりました。初日の夜はサムギョプサル(豚の焼肉)で結団式。初めて会ったにもかかわらず、すぐに意気投合するあたりは、さすがに児童館職員! と実感しました。



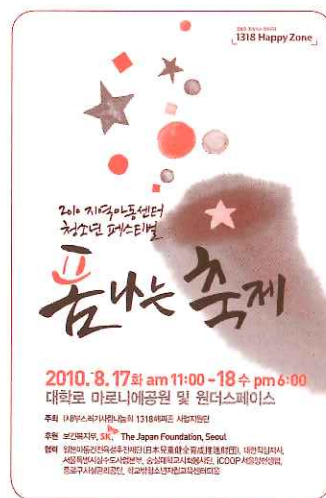
▲韓国派遣メンバー

ソウルの夏は熱い!

今年は日本の夏も暑かったのですが、韓国もさらに暑かったです。そんな中、日本からのメンバーは、日本の児童館活動を紹介するブース運営や施設の視察、ワークショップに精力的に取り組みました。しかし、韓国のメンバーのパワーは、日本を上回っていたように思います。運営しているブスロギのスタッフはもちろんのこと、利用している中高生世代(1318)のメンバーもとても「熱い」方が多く、フェスティバルを盛り上げていました。

また、ホスピタリティーも感じました。滞在中いつもブスロギのスタッフがサポートしてくださり、また開・閉会式では、日本メンバーの紹介、テープカットへの参加、閉会式での挨拶をさせていただき、歓待いただきました。

日本からのメンバーは、とても多くの刺激を受けて帰ってきました。次号からは参加された特派員の韓国レポートを掲載致します。ご期待ください。



▲フェスティバルパンフ

派遣メンバースケジュール

- 8月16日 各自入国、オリエンテーション
- 8月17日 午前 「1318HappyZoneすてきなフェスティバル」開会式
(主催:(社)小さな愛を分かち合う会 1318HappyZone事業団、
後援:韓国政府保健福祉部、SK、The Japan Foundation, Seoul、
協力:育成財団ほか)
- 昼 韓国国会議員らとの昼食会
- 午後 日本の活動紹介ブース運営、視察(1318HappyZone、
地域児童センター)
- 夜 1318HappyZoneスタッフとの交流会
- 8月18日 午前 日韓交流ワークショップ
- 午後 ブース運営、視察
閉会式
- 8月19日 各自帰国

これまでの韓国との交流事業で入手した資料を、ホームページで順次公開していく予定です。今冬リニューアルする予定の財団ホームページにご期待ください。

*「韓国健全育成活動事情特派員」事業は、朝日生命伸びゆく子ども基金により実施致しました。また、独立行政法人国際交流基金ソウル日本文化センター(The Japan Foundation, Seoul)の助成をブスロギが受け、育成財団職員を招聘していただきました。ここに感謝申し上げます。